愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	総合演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	佐々木 裕美	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

「発信」をテーマとして、「自分への挑戦」を目的とします。具体的には、各学生がそれぞれの目標を明確にして、それを達成するための方法を見つけ、取り組むことに挑戦します。授業内では、提供された素材をもとに、自分の視点でまとめ、発表します。演習仲間とのシェアを通して、お互いの意見に耳を傾け、自分の意見を発信することに慣れていきます。 なお、後期の間に、外部講師を招いての課題解決ワークもしくはフィールドワークを行う予定です。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	毎回の授業では、語られたストーリー（英語のもの、日本語のもの、書かれたもの、話されたもの、演じられたもの、様々な形）を共通の学びの分野としつつ、その内容について自分なりにまとめて発表します。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	前期および夏休みの振り返り、プレゼンテーション、目標設定	前期と夏休みの振り返りをした後、プレゼンテーションを行う。 後期の目標設定を行う	□
第2回	1週間の振り返り What makes you happy? Have you made someone happy? 6. Seeing Beyond	前週の振り返り、課題の発見、行動決定 ノートの取り方について	□
第3回	1週間の振り返り 7. The Flat Tire	前週の振り返り、課題の発見、行動決定 プレゼンの仕方について	□
第4回	1週間の振り返り・１か月の振り返り 8. You Can Do It	1か月の振り返り、課題の発見、行動決定 ノートを取る	□
第5回	1週間の振り返り 8. You Can Do It ”The Blind Side”	前週の振り返り、課題の発見、行動決定 プレゼンをし合い、聞き合う	□
第6回	1週間の振り返り 8. ”The Blind Side”	前週の振り返り、課題の発見、行動決定 ノートを取る、調べて深める	□
第7回	1週間の振り返り 9. My First Job ”Hope Invites”	前週の振り返り、課題の発見、行動決定 プレゼンをし合い、聞き合う	□
第8回	1週間の振り返り・2か月の振り返り・目標設定 9. My First Job ”Hope Invites”	2か月の振り返り、課題の発見、行動決定 ノートを書いてプレゼンする	□
第9回	1週間の振り返り 9. ”Hope Invites”	前週の振り返り、課題の発見、行動決定 英文の内容を読んでポイントを書き出すノートを取る、調べて深める	□
第10回	1週間の振り返り 10. Hey, Thanks!	前週の振り返り、課題の発見、行動決定 英文の内容を読んでポイントを書き出すノートを取る、調べて深める	□
第11回	1週間の振り返り 10. Hey, Thanks!	前週の振り返り、課題の発見、行動決定 プレゼンをし合い、聞き合う	□
第12回	1週間の振り返り・3か月の振り返り・目標設定 10. Hey, Thanks!	3か月の振り返り、課題の発見、行動決定 ノートを書いてプレゼンする	□
第13回	1週間の振り返り 11. Steve Jobs, ”Stanford Commencement Speech”	前週の振り返り、課題の発見、行動決定 プレゼンをし合い、聞き合う	□

第14回	1週間の振り返り 自由課題でプレゼンテーション	前週の振り返り、課題の発見、行動決定 自分が解決したい社会などの課題について調べ、ノートを作り、まとめる	□
第15回	1週間の振り返り・2年生の振り返り・目標設定	前週の振り返り、課題の発見、行動決定 また、これからの目標設定を行う	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業前には、各回の題材を読んで、ストーリーの内容を理解しておくこと。題材は、学生の興味に応じて追加変更することがある。（30分）
授業後には、そこから発展させられることを考えて調べること（30分） 各自、自由に題材を選んで自分のプレゼンテーションを作成すること（30分）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

授業の冒頭には、毎回前週の振り返りを行い、常に軌道修正を行いながら、翌週の行動を決定する。 すべてノートに書いて、行動し、振り返り、次につなげる。 従って、毎回の授業では、ノートに書くことと、簡単なプレゼンテーションをすることが求められる。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	学びの基礎となる社会、文化、自然等に関連する幅広い知識を習得しながら専門知識 を育み、それを活用することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	基礎学力を踏まえた専門知識と自らの経験を基に、創造的に考えたうえで、課題につ いて的確に判断し、自在に表現、発信することができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	多様な人々の中で自己を理解し、主体的に他者と協働して問題を解決することができ る。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			100%	

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業内で指示する	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		